

海のおもいで創造プロジェクト (海と日本2022) 実施報告書

1.プロジェクト概要

2. 総括と展望

3.補足資料

3.1 連携団体・事例

3.2 当日の受入体制

3.3 プログラム内容紹介

3.4 波及活動

3.5 制作および製作物

3.6 WEBリニューアル

1.プロジェクト概要

1. プロジェクト概要



■ 海のおもいで創造プロジェクトとは

海へ連れて行く保護者の負担が大きな原因となり、近年子どもたちの海離れが加速しています。

加えて、そうした子どもたちは幼い時に海の思い出がないため、大人になっても海を訪れないという負の連鎖が生じています。

本プロジェクトは、子どもたちが保護者に依存せず海を体験できるように、民間学童や小学校・ライフセーバー事業者との連携スキームを構築し、海に触れることなく育つ子どもを一人でも減らし、たくさん子どもたちに海で楽しい思い出を創ってもらうための活動を推進します。

実施概要

- ▶ プログラムの改善・強化 : 参加団体や専門家等の意見を反映しつつ、プログラムをブラッシュアップ
- ▶ プログラム実績の確立 : より多くのプログラム実施を通じて、海体験の有用性や安全管理方法を確立
- ▶ 教育委員会等と関係構築 : 教育委員会、校長会との関係構築をきっかけに、初の小学校連携が実現
- ▶ メディア等の波及連携 : 映像・レポート等の展開、TV、WEB等での情報発信およびWEBサイトの運用・更新等

プロジェクト目標

▶ 定量目標

- 児童参加者 : 660名

▶ 定性目標

- 継続的に学童との連携を行うことで子どもたちに海体験を提供し、学童や保護者が抱える海体験へのハードルを解消していく。
- 小学校等への横展開を見据えたプログラムの実績等を確立させる。
- 小学校等での恒例行事化を見据えた教育委員会等との関係基盤を構築していく。

2.総括と展望

2. プロジェクトの総括と展望



■ プロジェクトの総括と展望

本プロジェクトでは、昨年までも民間学童を中心に連携することで、保護者に依拠することなく多くの子ども達と海との接点をつくってまいりました。今年度は、更に間口を広げるべく、これまで通りの民間学童との連携に加え、神奈川県四市の教育委員会に新たにアプローチするとともに、過去2年間の実績を元に臨海地域の小学校を中心にプログラムの案内を行い、プロジェクト始動以降、初めて小学校（清泉小学校（鎌倉市）、逗子小学校（逗子市））との連携を実現し、より広い層の子ども達に海に触れる体験を届けるための一歩を踏み出すことができました。

また、子ども達の海体験の安全性や価値を改めて明確化し、連携団体・関係者に丁寧に伝えていったことにより、プロジェクト賛同団体数は23団体、参加希望者は約700名にまで拡大させることができました。新型コロナウイルスの感染拡大等の影響で、イベント直前に中止せざるを得ない日程もありましたが、最終的に小学校2校・学童20校、約500名の子ども達の参加を募ることができ、着実にプロジェクトを発展させることに成功いたしました。

引き続き地元ライフガードとの主軸と据えて、こうした連携先とのネットワーク及びプログラム運営に係るノウハウを有効活用し、更に効率的かつ幅広い層に向けて一人でも多くの子ども達が海に触れる機会を創出するための持続的な仕組み化を模索し、海を取り巻く文化の発展に寄与していきたいと考えています。

プロジェクト実績

▷ 定量実績

- 参加希望者：約700名（最終実績491名）
※新型コロナ感染拡大等の影響で、直前に参加を断念せざるを得ない場合があったため

▷ 定性実績

- 連携実績の継続によって、教育団体・保護者において更に海に対して前向きな変化が見られた
- 団体特性に最適化した対応を行い、小学校連携を実現した
- 各市教育委員会等と継続的に情報共有を行い、次年度以降も見据えた関係を構築した

3.補助資料

3.1 連携団体・事例



■ 日程別 参加団体・参加人数リスト

◆ 最終的に約500人の子どもたちが参加

※当初は約700名が参加を予定していたが、新型コロナ感染拡大等の影響で、直前に参加を断念せざるを得ない場合があったため。

実施日	参加団体名	参加人数
7月7日 (木)	清泉小学校	23
7月8日 (金)		23
7月11日 (月)		23
7月25日 (月)	逗子小学校	40
7月26日 (火)	キッズビジョン 門前仲町	18
7月27日 (水)	キンダリーインターナショナル	14
7月28日 (木)	放課後NPOアフタースクール	32
7月29日 (金)	晴れ間 / 学研ココファン	30
8月1日 (月)	ヒューマンアカデミー	21
8月2日 (火)	明光キッズ	15
8月3日 (火)	こどもみらい	7
8月4日 (木)	ウィズダム 恵比寿 / ウィズダム 市ヶ谷	17
8月5日 (金)	キッズビジョン 月島	20
8月8日 (月)	フューチャーテーブル	21
8月9日 (火)	FAMよこはま	26
8月12日 (金)	キッズビジョン 日本橋浜町①	19
8月16日 (火)	プラス・スポーツ	20
8月17日 (水)	学童保育クラブ アウラ	28
8月18日 (木)	城南キッズ 川崎	24
8月19日 (金)	ZIPPY KIDS	19
8月23日 (火)	城南キッズ 塚越	25
8月26日 (金)	キッズビジョン 日本橋浜町②	26
合計		491

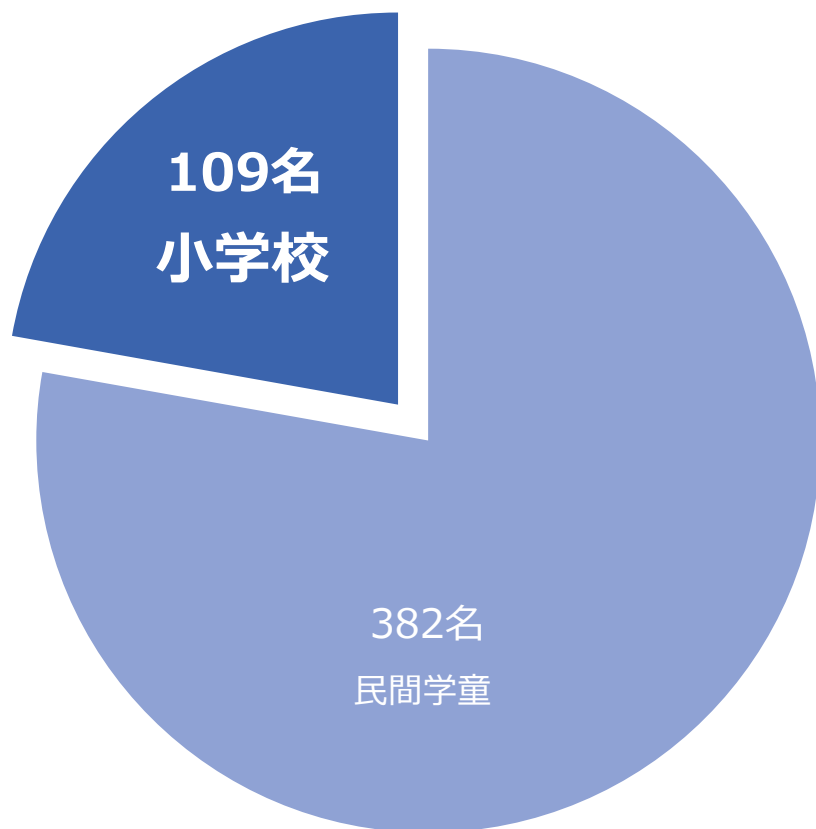


3.1 連携団体・事例

■ 初の小学校連携が実現

◆ 22年度 連携状況

2年間の学童との取組が信頼実績となり、
小学校2校（計109名）との連携が実現しました。



◆ 22年度 連携小学校紹介



清泉小学校

Seisen elementary school

開校75年以来初となる、海に入る体育の授業を実施！

人数：69人

学年：2年生（3クラス）

所在地：鎌倉市



逗子市立 逗子小学校

サマースクールの一環として海体験を実施！

人数：40人

学年：1年生～4年生（各学年10名程度）

所在地：逗子市

3.1 連携団体・事例



■ 清泉小学校との連携事例

◆ 実施総括

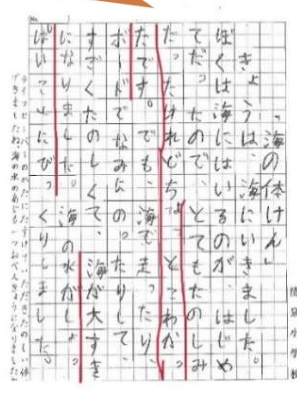
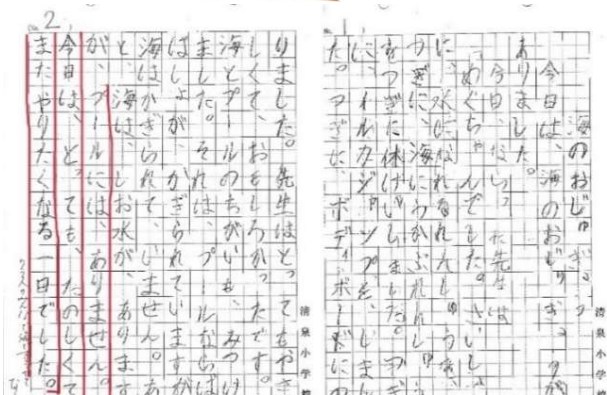
初めて授業として海体験を実施したが、子どもたちや先生方の満足度は高く、次年度も連携の意向を示していただいた。人生初の海体験に緊張する子もいたが、体験が後半に進むにつれて海に慣れていき笑顔で積極的に取り組む様子が伺えた。



とっても楽しくて、
また海に入りたいと思える1日でした。

初めてだったので、怖かったですが、
海が大好きになりました。

地元の鎌倉の海で、
授業として取り組めて良かったです！



3.1 連携団体・事例



■ 清泉小学校との連携事例

◆ メディア露出

プログラム当日に各種メディアを誘致し、TV、新聞、WEB記事等で本取り組みを広く発信することができた。

TVK テレビ神奈川



海は面白いものが、
たくさんあって
楽しかった!

朝日新聞・タウンニュース

ライフセーバーと海の授業
鎌倉・清泉小の児童

鎌倉市の私立清泉小学校の子どもたちが7日、同市材木座海岸でライフセーバーと一緒に海を体験する授業があった。参加したのは2年生児童23人。海の状態を伝え未来について考えてもらおうと日本財団などが進めている「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。

ライフセーバーから海とプールとの違いや「離岸流」などについて説明を受けたあと、準備運動をして水に入った。ライフセーバーの補助で仰向けになって水に浮かんだり、ライフジャケットの着け方を習ったり。ボディボードにも挑戦し、波に乗って歓声を上げた。

担任の海老沼由伸教諭(23)は「広い海に来て解放され、笑顔がいっぱいで楽しそうだった」。児童の1人は「波が来たとき潜ったりして、いろんな遊びができてうれしい」。別の児童は「きれいな色の貝がたくさん拾えた」と話していた。(芳垣文字)

朝日新聞 DIGITAL

ライフセーバーと海の授業 鎌倉・清泉小の児童たち

2022年7月7日 10時45分

鎌倉市 鎌倉市の私立清泉小学校の子どもたちが7日、同市材木座海岸でライフセーバーと一緒に海を体験する授業があった。参加したのは2年生児童23人。海の状態を伝え未来について考えてもらおうと日本財団などが進めている「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。

ライフセーバーから海とプールとの違いや「離岸流」などについて説明を受けたあと、準備運動をして水に入った。ライフセーバーの補助で仰向けになって水に浮かんだり、ライフジャケットの着け方を習ったり。ボディボードにも挑戦し、波に乗って歓声を上げた。

担任の海老沼由伸教諭(23)は「広い海に来て解放され、笑顔がいっぱいで楽しそうだった」。児童の1人は「波が来たとき潜ったりして、いろんな遊びができてうれしい」。別の児童は「きれいな色の貝がたくさん拾えた」と話していた。(芳垣文字)

タウンニュース

清泉小児童が海体験

2022年7月22日

清泉小学校の児童は7月7・8日と11日、志田ヶ崎情報サイトを運営するアクティオン(株)の企画で、海に入る体験授業を材木座海岸で受けた。

担任は「広い海に来て解放され、笑顔がいっぱいで楽しそうだった」と話した。児童の1人は「波が来たとき潜ったりして、いろんな遊びができてうれしい」。別の児童は「きれいな色の貝がたくさん拾えた」と話していた。(芳垣文字)

3.1 連携団体・事例

■ 逗子小学校との連携事例

◆ 実施総括

夏休みの特別企画（サマースクール）の一環として、40名の子ども達に、逗子海岸で海体験を提供した。当日体験の様子を見学した校長先生や保護者の方々からも好評で、次年度も見据えた連携関係を構築できた。



子どもたちの声

- ・スタッフの方が居たので、安心して遊ぶことが出来た。
　　今まで知らなかった海の事、海での遊び方を知ることが出来た。（4年生）
- ・最初から最後まで、ずっと楽しかったです。（2年生）
- ・またイベントに参加したいし、海に行きたいです。（3年生）
- ・初めはドキドキしたけどスタッフの方が優しくしたので安心した。**来年も参加したいです。**（1年生）
- ・海で遊ぶことが好きになった。ライフジャケットで浮ける事を初めて知った。（1年生）

（アンケートより）

3.1 連携団体・事例

■ 逗子小学校との連携事例

柳原校長先生



この度は、大変お世話になりました。子どもたちや保護者の方々も大変満足しております。次年度も是非宜しくお願いいたします。

保護者方の声

海に入る（潜る）ことはあまり得意ではなかったのですが「海は気持ちよかった！」との感想に親として、とても嬉しく、その後、何度も海に足を運ぶきっかけになりました。

★ フォルムなど習っている言語でもなく、遊びの機会が少ない息子にとって、海に入る（潜る）ことはあまり得意ではなかったのですが、「学校でイベントがある」と伝えたら「楽しみたい」とのことです。帰ってきた時に「本当に行ってよかった、行かないのはあり得ない！！」と嬉しそうな顔をしていたのが印象的でした。

帰ってきた時に「本当に行ってよかった、行かないのはあり得ない！！」と嬉しそうな顔をしていたのが印象的でした。

Q6 今日イベントを体験して思ったことや感じたことを教えてください。
(思いつかない人は、おどろいたこと、知ってよかったこと、家に帰ってやりたいことなどを教えてください。絵を描いてくれてもよいです)
行く前は、親と離れて他の人に預ける海のプログラムに不安がありました。帰ってきた時に「本当に行ってよかった、行かないのはあり得ない！！」と嬉しそうな顔をしていたのが印象的でした。ありがとうございました！！

この度は貴重な体験をありがとうございました。海が好きな息子が更に大好きになった様子です。

Q6 今日イベントを体験して思ったことや感じたことを教えてください。
(思いつかない人は、おどろいたこと、知ってよかったこと、家に帰ってやりたいことなどを教えてください。絵を描いてくれてもよいです)
この度は貴重な体験をありがとうございました。海が好きな息子が更に大好きになった様子です。

◇その他のコメント

「最初に「ほら貝」を鳴らして海に挨拶するところから始まったことに感動しました。子供も大変印象に残っていました。ポディーボードの使い方も改めて説明していただき、大変わかりやすく、勉強になり、海の楽しみ方が増えました！！暑い中ありがとうございました。」

「些細なことなのですが、海の中を素早く走る方法に、目からウロコでした。海で子どもにちょっとした何かあった時、今まではなかなかたどり着けずにはいましたが、この夏すぐに実践してみると以前より素早く移動できることに感動しました。イベント開催していただいて、どうもありがとうございました。」 etc…

3.1 連携団体・事例

■ 民間学童との連携事例

◆ 実施総括

今年、全20校・382名の子どもたちに参加いただいた。
参加した子どもたちや先生方の満足度は高く、次年度も参画したいとのコメントを多数いただいた。

子どもたちの声

「いままで海が苦手が入らなかったけど、このイベントを通して海が好きになった。」
(ヒューマンアカデミー 4年生)

「楽しかったし、面白かった。家に帰って海のことに関心を持った。」

「去年、この取組で蟹を見つけ興味が出たので、そこから蟹を自分で飼育するようになりました。」
(城南キッズ 2年生)

先生方の声

「児童も保護者も大満足でございました。有難うございました。既に来年の実施を希望する声も多く、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします」
(キッズビジョン)

「ライフガードの皆様、日本財団の皆様も、子どもたちが安全に遊べるように優しく促していただき、みんなとても楽しんでいました！ありがとうございました！」
(NPOアフタースクール)

「今まで海岸清掃や磯の生物探索で、海を訪れてはありましたが、せいぜい足首まで浸かる程度に留めており、このような機会がなければ、水着で海に入る体験をさせることはできなかったと思います。心より感謝申し上げます。」(FAMよこはま) etc…

お礼の手紙



※お手紙はPDFでお送りいたします。

3.2 当日の受入体制

■ 総括

2022年度は、これまでとは異なる小学校独自のタイムスケジュールで開催した日程もあったが、これに対応し得る柔軟な受入体制・組織を構築することができた。

また、昨年よりも開催日数を増やして夏のイベントに臨んだが、連日の開催に耐えうる効率的な人材運用や、研修・マニュアル等によるスタッフへの安全管理策の周知・徹底等により、重大な負傷者を出さずに全日程を完遂することができた。



3.3 プログラム内容紹介

■ 体験プログラム内容

カラダ全身で海を体感できるアクティビティに加えて、海を取り巻くさまざまな問題を学ぶことができるコーナーを設けることで、海の“遊び”と“学び”を掛け合わせた満足度の高い体験プログラムを実現することができた。

開会式



- 海とのつながりを知る
- 海とプールの違いを知る

海に慣れよう！



- 海で歩く、走る
- 海で浮いてみる

海クイズ



- 海でのあそび方を知る
- 海の生物/ごみ問題等を知る

サンドアート体験



- 海の生き物を表現する
- 貝殻や海藻に触れる

波に乗ろう！



- ボードで波に乗る

アウトプット



- 一日の体験を振り返る

3.4 波及活動



■ 体験レポート

イベント案内・報告レポート

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES
Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ

鎌倉の小学校が体育の授業として地元で初の海体験プログラムを実施！
-ライフセーバーと海に入り新たな成長と発見を！-

アクトインディ株式会社
2022年7月7日 11時00分

国内最大級の子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ (<https://iko-yo.net>)」を運営するアクトインディ株式会社（以下：アクトインディ）は、同社が企画する「児童がライフセーバーと海に入り、カラダ全身を使って海と触れ合う体験プログラム[海のおもいで創造プログラム]」を2022年7月7日、8日、11日に鎌倉市材木座海岸にて、学校法人 清泉女学院 清泉小学校（以下：清泉小学校）の体育の授業の一環として実施いたします。



**2022年7月7日
イベント案内レポート**

身の回りがある海
かしながら、安全
。また、プールの
「アクトインディが地
プログラム」に参画す

くために海を介し

2018年より実
験している海の体験プログラムです。海での自然体験を通じて心身の成長に寄与するだけでなく、海の特異性や海
で起こる様々な問題なども複合的に学べる体験内容となります。
保護者が子どもを海に連れて行く負担が原因となり、全国的に子ども達の海種れが加速すると言われる中（※
1）、この取組に参加した約2割の参加者がこれまで海に行ったことがないという状況もありました。本プログラム

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES
Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ

ライフセーバーと一緒に、小学生が海体験に挑戦！「海のおもいで創造プログラム」を開催しました！ | 2022年7月7日～8月26日実施@鎌倉材木座海岸・逗子海岸

アクトインディ株式会社
2022年9月12日 11時00分

国内最大級の子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ (<https://iko-yo.net>)」を運営するアクトインディ株式会社（以下：アクトインディ）は、子どもたちがライフセーバーと海に入り、カラダ全身を使って海と触れあう体験プログラム「海のおもいで創造プログラム」（以下：本プログラム）を、2022年7月7日～8月26日の期間、鎌倉市材木座海岸および逗子海岸にて、小学校や民間学童に通う約500名の子どもたちに向けて実施しました。



**2022年9月12日
イベント報告レポート**

本プログラムは、ライフセーバーが指導の下、子どもたちが安全に楽しく海と触れあい、海に親しむ体験を通じ

【参照元】 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000313.000026954.html>

【参照元】 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000338.000026954.html>

3.4 波及活動



TV

2022年08月27日(土) BSテレビ東京



3.4 波及活動



WEBニュース

フジテレビー!!・時事ドットコム等

フジテレビー!! そのハナシには、つづきがある



2022年7月
フジテレビー!!

鎌倉の小学校が体育の授業としての海体験プログラムを実践！

働く女性のミカタ by PR TIMES
2022年7月7日

< 1 2

国内最大級の子どものお出かけ情報サイト「いこーよ (https://iko-yo.net)」運営するアクティンディ株式会社（以下：アクティンディ）は、児童がライフセーバーと海に入り、カラダ全身を使って海と触れ合える「海のおもいで創造プログラム」を2022年7月7日、8日、11日に、学校法人 清泉女学院 清泉小学校（以下：清泉小学校）にて、学校法人 清泉女学院 清泉小学校（以下：清泉小学校）の実施いたします。

社名	媒体名
株式会社オールアバウト	All About NEWS
株式会社イード	ReseMom (リセママ)
C.S.T Entertainment, Inc.	おたくま経済新聞
株式会社サイトスコープ	とれまがニュース
ブラストホールディングス株式会社	SEOTOOLS
(株) マピオン	マピオンニュース
株式会社小学館	@DIME (アットタイム)
株式会社イード	NewsCafe
株式会社財経新聞社	財経新聞
オリコン株式会社	ORICON NEWS
ビッグロブ株式会社	BIGLOBEニュース
ニフティ株式会社	@niftyビジネス
株式会社日本ビジネスプレス	Jbpress (ジェイビープレス)
株式会社スカラコミュニケーションズ	フレッシュアイ
株式会社時事通信社	時事ドットコム
エキサイト株式会社	エキサイトニュース
楽天株式会社	Infoseekニュース
びあ株式会社	ハビママ*
びあ株式会社	ウレびあ総研

その他一覧



2022年9月
時事ドットコム

【アクティンディ株式会社】
国内最大級の子どものお出かけ情報サイト「いこーよ (https://iko-yo.net)」運営するアクティンディ株式会社（以下：アクティンディ）は、子どもたちがライフセーバーと海に入り、カラダ全身を使って海と触れあえる体験プログラム「海のおもいで創造プログラム」を、2022年7月7日～8月26日の期間、鎌倉材木座海岸にて、小学校や児童館等に送る約500名の子どもたちに向けて実施いたします。



社名	媒体名
シー・エス・ティー・エンターテインメント (株)	おたくま経済新聞
(株) 財経新聞社	財経新聞
(株) 小学館	アットタイム
オリコン (株)	ORICON NEWS
(株) 日本ビジネスプレス	Jbpress (ジェイビープレス)
(株) マピオン	マピオンニュース
(株) PR TIMES	ストレートニュース
(株) 講談社	現代ビジネス
(株) 産経デジタル	産経ニュース
(株) 時事通信社	時事ドットコム
楽天 (株)	Infoseekニュース
株式会社イード	NewsCafe
エキサイト株式会社	エキサイトニュース
株式会社サイトスコープ	とれまがニュース
株式会社ベストセラーズ	BEST TIMES (ベストタイムズ)
ブラストホールディングス株式会社	SEOTOOLS
株式会社産業経済新聞社	iza (イザ！)
株式会社読売新聞社	読売新聞オンライン
株式会社オールアバウト	All About NEWS
ビッグロブ株式会社	BIGLOBEニュース
ニフティ株式会社	@niftyビジネス
株式会社スカラコミュニケーションズ	Fresh eye ニュース
びあ株式会社	ウレびあ総研
株式会社ドワンゴ	ニコニコニュース

その他一覧

3.5 制作および制作物

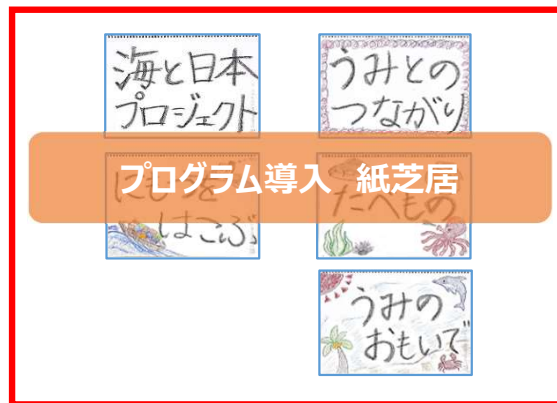


映像および紙資料 (紙芝居・ポスター・マニュアル)

映像



紙資料



3.6 WEBリニューアル

WEBリニューアル

プログラム紹介ページ



実績紹介ページ



【参照元】 https://iko-yo.net/partners/uminohi_jp/memories